

2019年6月27日

高等教育キーパーソン各位

地域科学 KKJ セミナーニュース 524

多様な連携・統合を拓く——

ネットワーク型大学経営の新展開3

～ 地域連携／法人合併／設置者変更（大学・学部）／自立・連携・協働 ～

7月25日（木）開催

ご参画・ご派遣のお願い

大学法人にとって、ヨコ・タテの学校種、地域圏内・外、国内・外における“連携・統合”“合従連衡”の時季を迎えております。2020年代は、まさに“多様で多彩なネットワーク型大学経営”の時代といえましょう。

政策サイドからも、新たに「学部等単位での譲渡」や「大学等連携推進法人」等の制度フレームがスタートしております。

“統合・合併”においては、固有な組織・文化・風土の融合は、なかなか至難といえます。“連携・協働”においては、目的・機能を実質化するトップの属人的な力量が問われます。

第1講の清水 一彦氏（山梨県立大学）からは、山梨県・（国）山梨大学・（公）山梨県立大学の3者でスタートする“連携推進法人”方式による取組みについて、そのコンセプトと活動経緯、今後の具体展開を論展いただくとともに、新たな地方高等教育制度への提言をいただきます。

第3講の渡辺 正典氏（大垣総合学園）からは、大学法人と短大法人の学校法人合併による新法人の設立経緯、大学名称変更・学部増、大学・短大の協働の取組み、そして、今後の学園都市実現について報告いただきます。

第4講の濱名 篤氏（濱名学院）からは、5月10日に施行した「学部等の設置者変更」制度の活用第1号となる「法人合併」「設置者変更」の事例紹介とともに、変革期の法人経営における、“必要な経営規模”、“市場選択と実現方策”等について、豊富な知見を踏まえ、論展いただきます。

第2講の青野 友太郎（高等教育計画経営研究所）からは、日本の高等教育に40年余にわたり、伴走してきたシンクタンカーの立場から、3重層の地域ブロック圏高等教育計画、地域機構の組織・事業・運営財源、実施方策についての政策提言を行います。